

2019 年 8 月 26 日

学会賞選考委員会
委員長 雨森孝悦

日本 NPO 学会賞・年次大会優秀発表賞（第 21 回年次大会）について

年次大会における研究報告および実践報告のうち優れている発表について表彰する日本 NPO 学会賞・年次大会優秀発表賞（以下、優秀発表賞）を、以下のように決定した。

この賞は、当該年度の本学会年次大会で実際に発表を行った本学会正会員又は学生会員の発表に対して授与されるものである。日本 NPO 学会賞細則ならびに日本 NPO 学会賞細則施行規程に基づき、学会賞選考委員会において慎重に審議した結果、選考対象発表数 40 件（選考辞退 1 件）の中から、下記の 2 件の発表に優秀発表賞を授与することとした。

記

■優秀発表賞（研究報告）：1 点

森瑞季「共働の中に存在する葛藤そして黙認を超えた承認についての考察—労働統合型社会的企業での参与観察とヒアリングから」

■優秀発表賞（実践報告）：1 点

小嶋新・坂本治也・鬼本英太郎「兵庫県における一般社団法人と NPO 法人の実態調査からの考察」

（補足説明）

本件に関しては、大会終了後できるだけ早い段階で受賞者の発表を行うという趣旨から、選考委員会の判断で理事会宛てのメーリングリストにて報告し、その後受賞者と会員への報告も行った。しかし、学会賞細則第 6 条（表彰等）には、「・・・発表賞については大会終了後、理事会に選考結果を報告し、受賞者を発表する」とあるので、これをもって正式の理事会報告とする。受賞者には当理事会での報告後、正式通知がなされ賞状が送られる。

次年度以降の扱いについては、受賞者の速やかな発表と規定の遵守という観点から別途検討する必要がある。

以上